

## ギャンブル依存症診断

以下のうち5つ以上によって示される持続的で反復的な不適応的ギャンブル行為は、ギャンブル依存症といえる。

1. ギャンブルにとらわれている（例：過去のギャンブルを生き生きと再体験すること、ハンディをつけることまたは次の賭の計画を立てること、またはギャンブルをするための金銭を得る方法を考えることにとらわれている）。
2. 興奮を得たいがために、掛け金の額を増やしてギャンブルをしたい欲求にとらわれたことがある。
3. ギャンブルをするのを抑える、減らす、やめるなどの努力を繰り返し成功しなかったことがある。
4. ギャンブルをするのを減らしたり、またはやめたりすると落ち着かなくなる、またはいらいらする。
5. 問題から逃避する手段として、または不快な気分（例：無気力、罪悪感、不安、抑鬱）を解消する手段としてギャンブルをするまたは、したことがある。
6. ギャンブルで金をすった後別の日にそれを取り戻しに帰ってくることが多い（失った金を”深追いすること”）。
7. ギャンブルへののめり込みを隠すために、家族、治療者、またはそれ以外の人に嘘をつく。
8. ギャンブルの資金を得るために、偽造、詐欺、窃盗、横領などの非合法的行為に手を染めたことがある。
9. ギャンブルのために、重要な人間関係、仕事、教育または職業上の機会を危険にさらし、または失ったことがある。
10. ギャンブルによって引き起こされた絶望的な経済状態を救うために、他人に金を出してくれるよう頼ったことがある。